

2021年度及び2022年度の取り組み内容

	課題内容	昨年度までの効果検証	目標	課題に対応する施策/継続施策
課題1	<p>【課題分類】 社員の感染症予防</p> <p>【課題】 業務上高齢者との接点が不可欠であるが、感染症予防に有効なインフルエンザの予防接種が必ずしも十分とは言えない</p> <p>【根拠】 2019年の実施率が70%に満たなかったため</p>	<p>2019年度 接種率 65.3%</p> <p>2020年度 接種率 89%</p> <p>2021年度 接種率 82%</p> <p>2022年度 接種率 91%</p> <p>20年度はフォロー体制強化により、大きく接種率が上昇した。21年度は、コロナ禍でインフルエンザが流行せず、接種率が減少したが、22年度はフォロー体制強化により接種率は目標を達成した。</p>	<p>予防接種の実施率をさらに向上させる。</p> <p>2022年度目標値 90%以上</p>	<p>①社員へ感染症予防の必要性の徹底周知（社内の感染情報専用の掲示板で適宜情報発信、入職時研修内での周知）</p> <p>②各事業所ごとにインフルエンザ予防接種の受診対象者を明確にし、管理・フォローを行う</p> <p>③インフルエンザ予防接種の全額補助、感染時は特別休暇認定</p>
課題2	<p>【課題分類】 女性特有の健康関連課題への対応、女性の健康保持・増進</p> <p>【課題】 子宮がんや乳がんに罹患する割合が全国的に増加しており、また若年化してきている。</p> <p>【根拠】 当社においても、従業員が子宮がんや乳がんに罹患するケースが発生している</p>	<p>2020年度 乳がん検診受診率 82.6% 子宮がん検診受診率 66.4%</p> <p>2021年度 乳がん検診受診率 83.4% 子宮がん検診受診率 66.5%</p> <p>2022年度 乳がん検診受診率 84.5% 子宮がん検診受診率 65.7%</p> <p>検診を受診するか検診項目を選択する際に、がん検診の重要性や早期発見の重要性を説明。2022年度乳がん検診は目標値を達成した。</p>	<p>がん検診受診率をさらに向上させる。</p> <p>2022年度目標 乳がん検診受診率 84% 子宮がん検診受診率 67%</p> <p>なお、全国の乳がん検診受診率は47.4%（※）、子宮がん検診受診率43.7%（※）で全国平均と比較すると当社は高い水準となっている。</p> <p>（※）国立がん研究センターHPより2019年数値を抜粋</p>	<p>①がん検診の重要性、早期発見の重要性の研修実施</p> <p>②乳がん検診、子宮がん検診の費用全額</p>
課題3	<p>【課題分類】 社員の喫煙率低下</p> <p>【課題】 喫煙は健康に悪影響を与えることが分かっている中で当社の喫煙者が多い。</p> <p>【根拠】 他のグループ会社に比べ、喫煙率の値が高いため</p>	<p>2019年度 喫煙率 21.4%</p> <p>2020年度 喫煙率 18.4%</p> <p>2021年度 喫煙率 19.5%</p> <p>2022年度 喫煙率 18.6%</p> <p>2021年度は、禁煙に関する啓発ニュース発行の回数が減ったことで、キャリア採用入社者への周知徹底が弱くなり、喫煙率が増加したが、2022年度は18.6%に引き下がり、目標値18.0%に近づいた。</p>	<p>日本国民の喫煙率は16.7%（※）であり、依然それより高い数値となっている。今後も継続して喫煙率の改善を目指す。</p> <p>2022年度目標 18%</p> <p>2025年度 16.5%を目指す</p> <p>（※）国立がん研究センターHPより2019年数値を抜粋</p>	<p>①禁煙に関する啓発活動 社内ニュースの発行、栄養指導等</p> <p>②禁煙外来費用補助、禁煙補助剤の一部費用補助</p> <p>③敷地内禁煙の継続、徹底</p>